

描く人、安彦良和

Yasuhiko Yoshikazu :
Divine Animator and Draftsman

展示概要

『機動戦士ガンダム』のキャラクターデザイナー兼アニメーションディレクター、『ネオ・ヒロイック・ファンタジア アリオン』『巨神ゴッグ』等のアニメ監督として知られるほか、『王道の狗』『乾と巽—ザバイカル戦記—』といった日本の古代史と近代史をテーマとした歴史漫画の編み手である安彦良和の魅力を存分に味わえる回顧展です。初公開を含むアニメ制作時の貴重な資料や美しいカラーイラスト、青年期から現在に至るまでの様々な資料など 800 点を超える作品資料から約五十年にわたる創作仕事を紹介します。安彦の創作の原点となる生地北海道で、圧倒的な画力と壮大なスケールの物語、強いまなざしで描かれるキャラクターたちから、クリエイションの軌跡をたどります。



【1】◎ 創通・サンライズ ◎ 高千穂&スタジオぬえ・サンライズ
◎ サンライズ ◎ 安彦良和・THMS ◎ 学研・松竹・バンダイ

◎ 展覧会公式サイト：

<https://www.mbs.jp/yasuhikoten/>

◎ 苫小牧市美術館公式サイト：

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

【会期】7月12日（土）～8月31日（日）

【開館時間】9:30-17:00（最終入館は 16:30 まで）

※7月26日（土）、8月26日（火）～30日（土）は 20:00 まで開館します。

【休館日】月曜日 ※7月21日・8月11日（月・祝）は開館し、7月22日・8月12日（火）は休館します。

【観覧料】一般 600（500）円、高大生 400（300）円、中学生以下無料

※（ ）内の料金は 10 名以上の団体及び前売り券の料金です。

※特別展観覧料で併せて常設展・中庭展示もご覧いただけます。※観覧料の免除等詳細についてはお問い合わせください

◎ 前売り券＝6/12 から販売開始 →販売場所：苫小牧市美術館

◎ 共通セット券＝1300 円（苫小牧市美術館、釧路市立美術館）釧路市立美術館の会期は 9/13 ～ 11/3
→共通セット券はセブンチケットのみのお取り扱いとなります。

【主催】苫小牧市美術館、毎日新聞社【企画制作】MBS テレビ【企画協力】PONTOON

【協力】アニメ特撮アーカイブ機構、潮出版社、NHK 出版、科学映像館を支える会、Gakken、KADOKAWA、九月社、講談社、スタジオぬえ、創通、中央公論新社、東映、東北新社、バンダイナムコフィルムワークス、文藝春秋

【特別協力】HBC 北海道放送【特別協賛】株式会社三星

【後援】苫小牧商工会議所、苫小牧信用金庫、北海道新聞社、株式会社苫小牧民報社

苫小牧市美術館

Tomakomai City Museum



【2】安彦良和近影

1947 年北海道遠軽町に開拓民の 3 世として生まれる。66 年弘前大学入学、学生運動に参加したことから退学となり上京、『機動戦士ガンダム』でキャラクターデザインとアニメーションディレクターを担当、『クラッシャージョウ』で劇場版アニメの監督を務め、テレビアニメ作品では自身が原作の『巨神ゴッグ』を生み出す。後にマンガ家に転身し『アリオン』『ヴィナス戦記』『クルドの星』『ナムジ』『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』他を精力的に発表。現在『銀色の路―半田銀山異聞―』執筆中。

みどころ

1) 確かな画力に裏打ちされた多彩なイラストと漫画原稿

ポスターの原画や雑誌表紙を飾ったイラストなど、総数 800 点を超える作品を展示します。卓越した画力に基づく漫画原稿が放つ、流れるような線や色彩の妙は、見る者の目を惹きつけます。

2) 制作過程を物語る、初公開資料の数々

キャラクター設定の際のラフスケッチ、アニメ制作における絵コンテ、映画ポスターの下絵など、名作が生まれる刹那を伝える原画の数々を出品します。今回の巡回展を機に初めて公開された貴重な資料も含まれます。

3) 出生地・北海道時代の資料も公開

北海道遠軽町の中学校時代に安彦が授業の要点をまとめたノートを資料として紹介。端正なイラストや文字は、安彦少年の早熟な才能を示すと同時に、その後の創作活動の展開を予見させてくれます。

展示構成

1 章 北海道に生まれて

幼い頃から描くことに対する探究心が尽きなかったという安彦良和。中学時代の授業の要点をまとめたイラスト入りのノート『重点整理帳』をはじめ、大学時代に描いた漫画などにより、「描く人」の原点を探ります。



【3】『重点整理帳』（理科）1963 年



【4】『遙かなるタホ河の流れ』上巻より

2章 動きを描く

『宇宙戦艦ヤマト』で注目を集めた安彦は、様々な作品の中で、生き生きとしたキャラクターを描きました。動きを感じさせる作品をととして、花形アニメーターとして活躍した時代を振り返ります。



【5】『無敵超人ザンボット3』設定資料 ザンボット3 武装 ザンボット・ブロー決定稿
© 創通・サンライズ



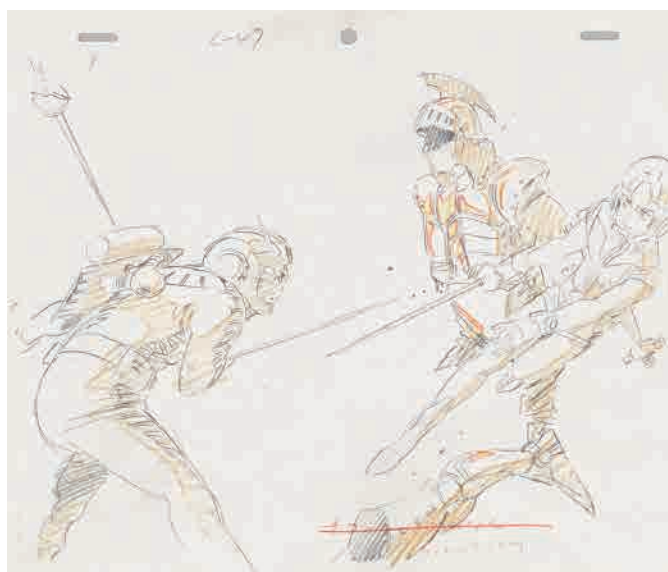
【6】『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』ポスター原案
© 東北新社／著作総監修 西崎彰司

3章 カリスマ・アニメーターの誕生

社会現象を巻き起こした『機動戦士ガンダム』で安彦が果たした役割について、貴重な資料やイラスト原画により紹介します。



【7】『機動戦士ガンダム』（劇場版）
宣伝ポスター用イラスト原画 1981年 © 創通・サンライズ



【8】『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙（そら）編』
（シャアとアムロの決闘）原画 © 創通・サンライズ

4章 アニメーターとして、漫画家として

安彦が監督を務めたアニメや小説挿絵、小説、さらには実現しなかった企画まで、旺盛な制作意欲で駆け抜けた80年代を振り返ります。



【9】『アリオン』より © 安彦良和



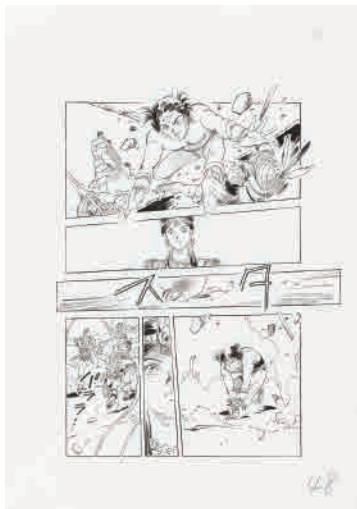
【10】『ネオ・ヒロイック・アリオン』
ポスター原画 © 安彦良和・THMS



【11】『クラッシャージョウ』
『ジ・アニメ』1983年2月号表紙イラスト原画
© 高千穂 & スタジオぬえ・サンライズ

5章 歴史を描く

日本近代の戦争を描いた『虹色のトロツキー』、キリスト教を主題とした『ジャンヌ』などの歴史漫画を紹介します。



【13】『ナムジ』より © 安彦良和／KADOKAWA



【14】『虹色のトロツキー』第5集第3章より 漫画原稿 1994年
© 安彦良和／潮出版社



【12】『巨神ゴーク』
『アニメージュ』1983年8月号
付録ポスター用イラスト原画 © サンライズ



【15】『ジャンヌ』愛蔵版カラーイラスト原画 2002年 © 安彦良和



【16】『王道の狗より』

6章 安彦良和の現在

SFや歴史、神話をとおして「人間」の姿を自由闊達に描く安彦の現在地を紹介します。『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』をはじめ、最新のアニメ、長編漫画などから、今もなお第一線で活躍を続ける安彦の作品にこめられた社会へのメッセージを読み解きます。



【17】『機動戦士ガンダム THE ORIGIN V 激突ルウム会戦
Blu-ray Disc Collector's Edition (初回限定生産)』
飾れる収納箱用イラスト原画 © 劇通・サンライズ



【18】『機動戦士ガンダム THE ORIGIN VI 誕生 赤い彗星
Blu-ray Disc Collector's Edition (初回限定生産)』
飾れる収納箱用イラスト原画 © 劇通・サンライズ



【19】『乾と巽ーザバイカル戦記ー』
第1話より漫画原稿 2018年 © 安彦良和／講談社

関連イベント

① ワークショップ「アニメーションをつくってみよう」

連続する絵を描いてアニメーションをつくります。

日時：7月26日（土）13:00~14:30

講師：安彦良和（アニメーター・キャラクターデザイナー・漫画家）

参加料：無料

対象：小学4年生～中学3年生

定員：15人

申込：美術博物館 HP

受付期間：7月3日（木）～7月10日（木）



② 講演会「安彦良和、北海道に生まれて（仮称）」

安彦良和による講演会を夜間開館に合わせて行います。

日時：7月26日（土）17:00~18:00

講師：安彦良和（アニメーター・キャラクターデザイナー・漫画家）

参加料：無料

定員：80人

申込：美術博物館 HP

受付期間：6月15日（日）～7月8日（火）

③ ギャラリートーク「学芸員による展示解説」

日時：8月16日（土）11:00～（40分ほど）

8月30日（土）11:00～（40分ほど）

定員：申し込み不要、直接会場へ。

※ 参加料は無料ですが、当日の観覧券が必要です

イベント①②の受付方法

※ 定員に達した場合、抽選のうえ後日、結果を通知します。

※ 電話での受付はしません。

美術博物館祭 2025 / 苫小牧アートフェスティバル 2025 イベント

物販

10:00～16:00 ※ 販売時間と開館時間が異なります。あらかじめご了承ください。

豪華展覧会図録や関連グッズを販売します。

[広報画像申込書]

本リリース掲載画像【1】～【19】をデータでご提供します。末尾記載の FAX または E-mail でお申込みください。

【広報用画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期・会場名のほか、画像掲載の際は作品名、コピーライトを必ずご掲載ください。
- 画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- web サイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを下記にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、掲載 URL、同録 DVD を下記までお送りください。

[広報画像・キャプション一覧] ご希望の画像番号の口チェックをお願いします。

番号	画像添付クレジット
1 ☐	© 創通・サンライズ © 高千穂&スタジオぬえ・サンライズ © サンライズ © 安彦良和・THMS © 学研・松竹・バンダイ
2 ☐	安彦良和近影
3 ☐	『重点整理帳』（理科）1963 年
4 ☐	『遙かなるタホ河の流れ』上巻より
5 ☐	『無敵超人ザンボット 3』設定資料 ザンボット 3 武装 ザンボット・ブロー決定稿 © 創通・サンライズ
6 ☐	『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』ポスター原案 © 東北新社／著作総監修 西崎彰司
7 ☐	『機動戦士ガンダム』（劇場版）宣伝ポスター用イラスト原画 1981 年 © 創通・サンライズ
8 ☐	『機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙（そら）編』（シャアとアムロの決闘）原画 © 創通・サンライズ
9 ☐	『アリオン』より © 安彦良和
10 ☐	『ネオ・ヒロイック・アリオン』ポスター原画 © 安彦良和・THMS
11 ☐	『クラッシャージョウ』『ジ・アニメ』1983 年 2 月号表紙イラスト原画 © 高千穂&スタジオぬえ・サンライズ
12 ☐	『巨神ゴッグ』『アニメージュ』1983 年 8 月号 付録ポスター用イラスト原画 © サンライズ
13 ☐	『ナムジ』より © 安彦良和／KADOKAWA
14 ☐	『虹色のトロツキー』第 5 集第 3 章より 漫画原稿 1994 年 © 安彦良和／潮出版社
15 ☐	『ジャンヌ』愛蔵版カラーイラスト原画 2002 年 © 安彦良和
16 ☐	『王道の狗』より
17 ☐	『機動戦士ガンダム THE ORIGIN V 激突ルウム会戦 Blu-ray Disc Collector's Edition（初回限定生産盤）』飾れる収納箱用イラスト原画 © 創通・サンライズ
18 ☐	『機動戦士ガンダム THE ORIGIN VI 誕生 赤い彗星 Blu-ray Disc Collector's Edition（初回限定生産盤）』飾れる収納箱用イラスト原画 © 創通・サンライズ
19 ☐	『乾と巽ーザバイカル戦記ー』第 1 話より 漫画原稿 2018 年 © 安彦良和／講談社
貴社名／	ご所属部署／
ご担当者名／	Tel／
媒体名／	媒体種／
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号） / 月 日発売予定 ☐ WEB への転載あり
サイト URL／	Email／

【展覧会・関連イベント等に関するお問合せ】

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町 3 丁目 9 番 7 号

TEL 0144-35-2550 FAX 0144-34-0408 Email hakubutukan@tomakomai.city.hokkaido.jp

苫小牧市美術館 担当：岩波・細矢